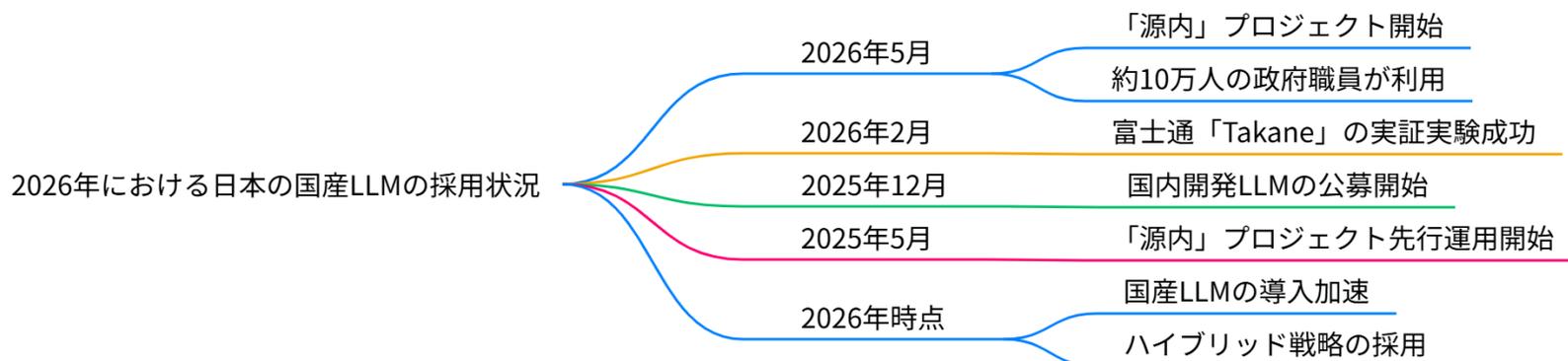


2026年における日本の国産 LLM の採用状況

Felo AI



概要

2026年、日本における国産大規模言語モデル（LLM）の採用は、政府主導の強力な後押しを受けて本格的な実行フェーズに移行した。この動きの中核をなすのが、2026年5月より約10万人の政府職員を対象に展開される生成AI利用環境「源内（げんない）」プロジェクトである [1 15 42](#)。政府自らが「ヘビーユーザー」となることで国内AI市場を牽引し、経済安全保障とデジタル主権の確立を目指す国家戦略が明確になっている [43 46](#)。

この戦略に基づき、Preferred Networks（PFN）の翻訳特化モデル「PLaMo Translate」が「源内」に採用されたほか、富士通の「Takane」は中央省庁の業務効率化を実証するなど、具体的な導入事例が次々と生まれている [5 18 45](#)。NTTの「tsuzumi」やNECの「cotomi」といった主要な国産LLMも、それぞれの強みを活かして官公庁や金融、医療といった機密性の高い分野での採用を拡大している [19 27 46](#)。海外製LLMとの全面的な競争ではなく、日本語の精度や安全性、特定業務への最適化を強みとする「使い分け」戦略が、2026年における日本の国産LLM採用の大きな特徴となっている [46](#)。

詳細レポート

政府主導の導入：ガバメントAI「源内」プロジェクト

2026年における国産LLM採用の最大の推進力は、デジタル庁が主導するガバメントAIプロジェクト「源内」である。

2025年5月にデジタル庁内で先行運用が開始されたこの生成AI利用環境は、2026年5月を目処に希望する府省庁の職員約10万人以上が利用できる大規模なプラットフォームへと拡大される計画だ [1 42 43](#)。

「源内」は単一のチャットツールではなく、法制度調査を支援する「Lawsy」や公用文チェッカーなど、行政特有の業務に特化した複数のアプリケーションを統合したプラットフォームとして設計されている [43](#)。このプロジェクトの目的は、単なる業務効率化に留まらない。政府自らがAIの「ヘビーユーザー」となることで、国内のAI開発企業に実務環境での検証機会とフィードバックを提供し、国内AI産業のエコシステムを育成することにある [43](#)。

デジタル庁の生成AI利用環境「源内(げんない)」 職員の利用画面

おすすめGovAI (デジタル庁作成AIソリューション)

デジタル庁職員全員が利用できるGovAIのおすすめを紹介します。
その他のGovAIはGovAIリストからご利用いただけます。

利用の多いユースケース

- AI+ウェブ検索 (Gemini)**
AIがウェブ検索を行い、最新ニュースなどを反映した回答を返します。長文入力にも強く、マニュアルや会話データの要約・整形、その内容に基づく回答も可能です。
- 法制度に関する調査 (愛称: Lawsy)**
法令Deep Researchツール Lawsyを使って、法令の調査を行うことができます。法令の条文を検索し、関連する法令や判例を参照しながら、法律に関する質問に答えることができます。
- SEABISヘルプAI**
SEABISのマニュアル・FAQを情報検索できるヘルプAIです。SEABISの操作方法などに関する質問に、マニュアルの内容を踏まえて回答します。
- チャット**
LLMとチャット形式で対話することができます。細かいユースケースや新しいユースケースに迅速に対応することができます。プロンプトエンジニアリングの検証環境としても有効です。
- 文章生成**
あらゆるコンテンツを作成することはできるタスクの1つ。メールをテキストに対応
- 国会答弁検索**
入力した質問に関連する過去の政府答弁を、国会議事録の公式データベースから検索し、関連性の高いものを表示します。国会で問われる内容の調査や参考情報の取得に活用できます。
- 要約文体指定書**
テキストデータを入力するだけで、自動的に内容を整理した上で、リストの中から指定された文体 (スタイル) でわかりやすく要約するAIです。
- EASYヘルプAI**
電子決裁システムEASYのマニュアル・FAQを情報検索できるヘルプAIです。EASYの操作方法などに関する質問に、マニュアルの内容を踏まえて回答します。
- 校正**
LLMは、誤字脱字のチェックだけでなく、文章の流れや内容を考慮したより客観的な視点から改善点を提案できます。人に見せる前にLLMに自分では気づかなかった点を客観的にチェックしてもらいクオリティを上げる効果が期待できます。
- フレックスタイム制ヘルプAI**
人事院フレックスタイム制・デジタル庁非常勤向け説明QAを情報検索できるヘルプAIです。デジタル庁のフレックスタイム制に関する質問に回答します。
- GitHub申請FAQ詳しいAI**
デジタル庁のGitHub利用に関する質問に回答します。GitHub利用FAQを検索し、回答と併せて原文の該当箇所も示します。最新情報は必ず原文で確認してください。

デジタル庁では全職員がポータル画面から生成AIを利用できる

この大規模な政府導入は、AIベンダーにとっての調達機会を創出するだけでなく、セキュリティ、監査、ログ管理といった要件の標準化を促し、事実上の国内標準 (デファクトスタンダード) を形成する可能性が高い [1 42](#)。

国産 LLM への戦略的転換と採用基準

「源内」プロジェクトの発表において最も重要な戦略的転換は、国産 LLM の積極的な採用方針を明確にしたことである [16 43](#)。政府は、海外製の巨大モデルへの依存が経済安全保障上のリスクになり得るとの認識から、日本語の語彙や表現、日本の文化・価値観に適合した国内開発モデルの導入を重視している [8 40 43](#)。

この方針に基づき、デジタル庁は 2025 年 12 月 2 日に「源内」で試用する国内開発 LLM の公募を開始した [22 48](#)。公募の条件には、以下のような厳しい要件が盛り込まれている。

- **セキュリティ:** 政府職員が「機密性 2 情報」を取り扱えるよう、ガバメントクラウド上の推論環境で動作すること

48。

- **安全性:** ハルシネーション（もっともらしい嘘）の抑制や、バイアス・差別的表現への対策など、安全性の取り組みを説明できること [48](#)。
- **性能:** 行政実務において実用可能な性能を有すること [48](#)。

この公募は、単に AI を購入するのではなく、政府と民間が連携して「信頼できる AI」を共創するエコシステムを構築する狙いがあり、国内の AI 開発力を強化する産業政策の一環と位置づけられている [43](#)。

生成AI利用環境(源内)の展開スケジュール

2025年5月～	デジタル庁内において職員向けに運用開始
2025年12月 2026年1月～	ガバメントAIで試用する国内大規模言語モデル(LLM)の公募 一部省庁で試験的利用(リリース1.0) 規模:全体で数百人
2026年5月頃～年度末	希望省庁に対する大規模導入実証(リリース2.0) →政府職員を対象として源内を試験的に提供 行政実務における生成AI利用環境の効果や課題を検証
2026年春～夏	源内の本格利用に向けて、利用希望省庁が概算要求
2026年夏頃	国内企業等が開発した国内LLMの試験導入(リリース2.1)
2026年12月頃	開発した高度な生成AIアプリケーションの試験提供(リリース2.2) 生成AI用の政府共通データの整備、提供(リリース2.2)
2027年度(R9年度)～	生成AIの本格利用(利用省庁が予算措置)(リリース3.0)

13

主要な国産 LLM と「源内」での採用状況

政府の国産 LLM 採用方針を受け、国内の主要 IT 企業やスタートアップが開発したモデルが次々と実用段階に入っている。特に「源内」プロジェクトへの参加は、技術力と信頼性の証明となるため、各社が注力している。

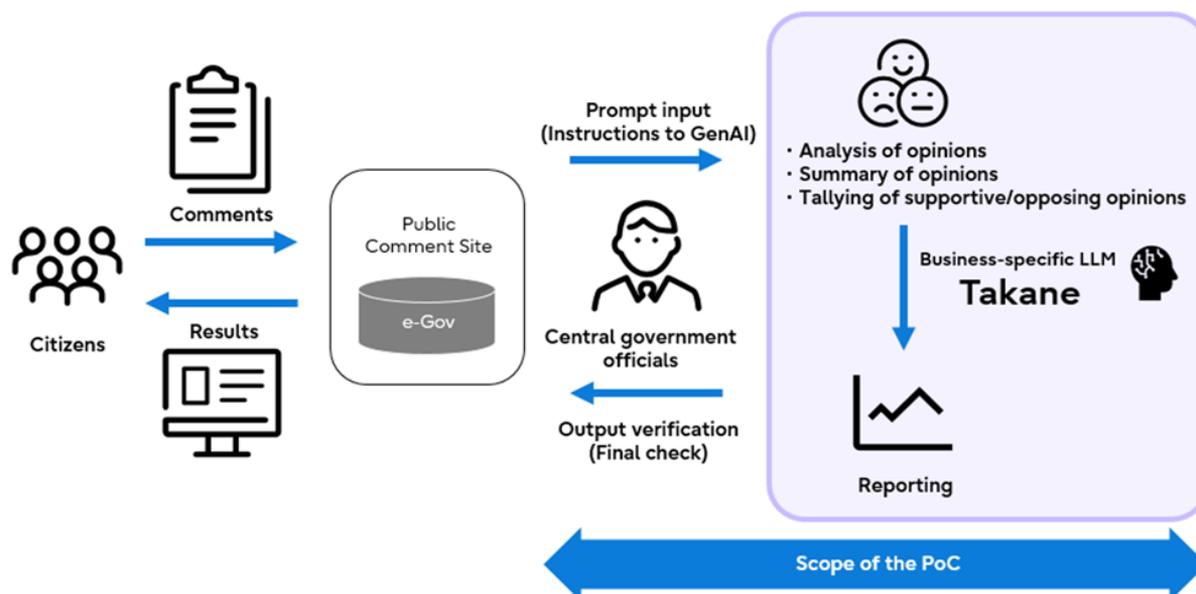
採用が決定したモデル:

- **Preferred Networks (PFN) 「PLaMo Translate」**: 2025年12月、PFNが開発した翻訳特化 LLM 「PLaMo Translate」が「源内」に採用されることが発表された [18 45](#)。このモデルは海外製 LLM に依存せず、アーキテクチャ設計から学習まで全て日本国内で開発されている [45](#)。オンプレミス環境でも動作可能なため、機密性の高い行政文書の安全な翻訳に適している点が評価された [45](#)。

.png)

実証実験で成果を上げたモデル:

- **富士通「Takane」**: 富士通は 2026 年 2 月 3 日、自社の LLM「Takane」を活用し、ある中央省庁のパブリックコメント業務を効率化する実証実験に成功したと発表した [5 21 47](#)。従来 1 ヶ月以上かかっていた意見の分類や要約といった作業を約 10 分で完了させ、職員がより重要な政策判断に時間を割ける可能性を示した [47](#)。富士通はこの成果を基に、2026 年度中に政策立案プロセス全体を支援する生成 AI サービスの提供を目指している [47](#)。



その他の主要な国産 LLM:

以下の表は、2026 年時点で実用化または注目されている主要な国産 LLM をまとめたものである。これらのモデルも「源内」での採用や、各省庁・企業での導入を目指している。

開発企業	LLM 名称	特徴
NTT	tsuzumi	軽量でありながら高性能。既に商用展開されており、実用性が高い 19 26 。
NEC	cotomi	130 億パラメータのモデルで、日本語への特化を強みとする 46 。

開発企業	LLM 名称	特徴
ソフトバンク	(自社開発中)	日本語に特化したモデルを 2025 年度中に実用化する計画。データセンターへの巨額投資も行う 37 52 。
楽天	Rakuten AI 3.0	2025 年末に発表。日本語処理性能の大幅な向上と企業向けカスタマイズ性を特徴とする 53 。
Sakana AI	(非公開)	元 Google の研究者らが設立。既存モデルを融合させる進化的手法で注目を集める、日本で最も評価額の高い AI スタートアップ 44 50 。

企業・特定分野での導入と「使い分け」戦略

国産 LLM の採用は政府機関に留まらない。データ主権や機密保持が厳しく問われる金融、医療、法務、製造業といった分野で、国産モデルの導入が加速している [27 46](#)。

日本企業の AI 導入率は 78% と世界的に見ても高い水準にあり、富士通、NEC、NTT、日立といった大手 IT ベンダーは、これらの国内産業顧客向けに国産 AI プラットフォームを展開している [3 44](#)。

ただし、これは海外のフロンティアモデルを完全に代替する動きではない。2026 年時点での日本の戦略は、むしろ「ハイブリッド戦略」または「使い分け」と表現するのが適切である [46](#)。

- **国産 LLM の得意領域:** 官公庁、金融、医療など、セキュリティとデータガバナンスが最優先される分野。また、敬語や業界専門用語など、日本語特有のニュアンスが重要となる業務 [27 46](#)。
- **海外製 LLM の得意領域:** 創造性や汎用性が求められるタスク、グローバルな情報に基づく分析など [46](#)。

この戦略は、日本の強みである「現場力」や特定業務への深い知見を活かしつつ、グローバルな技術トレンドも取り入れる現実的なアプローチと言える。政府は「デジタル改革 (DX) クレジット 2.0」といった税制優遇措置を通じて、国内モデル (Sovereign AI) を導入する企業にソフトウェア・ハードウェア費用の 40% 控除を適用するなど、民間企業による国産 LLM の採用を財政面からも後押ししている [2 12](#)。

1. [Post Election Japan: AI policy & regulatory/operational ...](#)
2. [Japan AI Policy News Today: The 2026 Executive Roadmap](#)
3. [Japan Built the Bullet Train. Why Can't It Build an LLM?](#)
4. [The State of Generative Media 2026](#)
5. [Fujitsu's Takane LLM successfully piloted in central ...](#)
6. [LLMs in 2026: What's Real, What's Hype, and What's ...](#)
7. [Japan's Agile AI Governance in Action: Fostering a Global ...](#)
8. [The Meaning and Future of Developing a Fully Domestic LLM](#)
9. [AI Regulation Developments in 2026](#)
10. [The Country That Told AI to Ask Permission](#)
11. [Crawl failed](#)
12. [Japan AI Policy News Today: The 2026 Executive Roadmap — Ai SaaS Writer](#)
13. [Crawl failed](#)
14. [Crawl failed](#)
15. [Post Election Japan: AI policy & regulatory/operational ...](#)
16. [デジタル庁「源内」、政府「国産 AI」採用へ](#)
17. [Japan Built the Bullet Train. Why Can't It Build an LLM?](#)
18. [PFN's PLaMo Translate to Be Adopted by Japan's ...](#)
19. [日本の AI : 2026 年 1 月時点のおさらいと未来予測](#)
20. [Japan Generative AI Market Size, Share, Growth, Forecast, ...](#)
21. [Fujitsu's Takane LLM successfully piloted in central ...](#)
22. [ガバメント AI で試用する国内大規模言語モデル \(LLM\) の公募 ...](#)
23. [I've organized some thoughts in response to the Japanese gov...](#)
24. [Japan AI Policy News Today: The 2026 Executive Roadmap](#)
25. [新年のご挨拶と 2026 年 AI トレンドの展望](#)
26. [AI in Japan](#)
27. [Japan's AI Bet: Your Need-to-Knows in 2026](#)
28. [【2026 年】LLM の限界とは？AI 開発の停滞説と 7 つの課題](#)
29. [Japan Generative AI Market](#)
30. [Japan Adopts First National Basic Plan for AI Development ...](#)
31. [AI 日本の進化：2026 年注目の活用事例ベスト 10](#)
32. [2024 | Back Number | Press Release](#)
33. [Japan to support domestic AI development with 1 tril. yen ...](#)
34. [日本には減税より AI サブスク、英語と DX の壁打破一人手不足も ...](#)

35. [Japan \\$135B AI Push: Quantum + GPU Infrastructure – Introl](#)
36. [Japan Adopts First National AI Plan to Boost Development ...](#)
37. [生成 AI 基盤、国産に勝機 ソフトバンクなど日本語特化モデル ...](#)
38. [Japan IT Services Market Valuation is Projected to Reach](#)
39. [Japan's Agile AI Governance in Action: Fostering a Global ...](#)
40. [生成 AI 関連ニュース ベスト 5 \(2025-12-26~2026-01-02\)](#)
41. [Japanese minister lays out digitalization plans for 2026](#)
42. [Post Election Japan: AI policy & regulatory/operational updates](#)
43. [デジタル庁「源内」、政府「国産 AI」採用へ](#)
44. [Japan Built the Bullet Train. Why Can't It Build an LLM? – Julien Simon](#)
45. [PFN's PLaMo Translate to Be Adopted by Japan's Government AI Project "Gennai" – Preferred Networks, Inc.](#)
46. [日本の AI : 2026 年 1 月時点のおさらいと未来予測 | MasaT. 武富 正人](#)
47. [Fujitsu's Takane LLM successfully piloted in central government agency to streamline public comment operations | Fujitsu Global](#)
48. [ガバメント AI で試用する国内大規模言語モデル \(LLM\) の公募について | デジタル庁](#)
49. [Japan | AI in Japan | Asian Intelligence](#)
50. [Japan's AI Bet: Your Need – to – Knows in 2026](#)
51. [AI 日本の進化 : 2026 年注目の活用事例ベスト 10 | TEAMZ WEB3 / AI SUMMIT 東京 | ブロックチェーン・クリプト最新情報](#)
52. [生成 AI 基盤、国産に勝機 ソフトバンクなど日本語特化モデル 利用領域絞って米中追う – 日本経済新聞](#)
53. [生成 AI 関連ニュース ベスト 5 \(2025-12-26~2026-01-02\) | 生成 AI 協会 \(略称 GAIS : Generative AI Society\)](#)